

## 第 14 回 議会改革調査検討特別委員会記録

令和元年 7 月 2 日 (火)

予算決算終了後

13 時 30 分～14 時 56 分

第 4 委員会室

【出席者】 西田委員長 牛尾副委員長 西川委員 村武委員 柳楽委員 小川委員  
野藤委員 笹田委員 布施委員 道下委員 田畑委員 澁谷委員

【議長団・委員外議員】

【事務局】 古森局長 篠原書記 新開書記

### 議題

#### 1 会派代表質問のあり方について

資料 1

参考資料 1

参考資料 2

**今後継続協議、検討し、次回までに方向性を出す**

#### 2 自由討議について

資料 2

参考資料 3

**今後継続協議、検討するとともに、中国 5 県で先進自治体へ視察を行う**

#### 3 その他

**行政視察～会派代表質問、自由討議の先進自治体**

**一般質問のあり方について、先進自治体を視察すればよい**

8 月 27 日 (火) ～28 日 (水) に実施決定

(幹事 牛尾副委員長、西川委員)

牛尾副委員長から、今後の検討テーマとして政策サポーター制度、文書質問の制度化、議会図書室の整備と市民開放、議員と議会事務局の協働、委員会と各種団体との意見交換会の制度化、小中高校生議会の開催の 6 つの提案がある

○次回開催 7 月 29 日 (月) 15 時 00 分 全員協議会室

(松阪市議会行政視察対応)

【詳細は会議録のとおり】

(開議 13時30分)

【会議録】

西田委員長

ただいまから第14回議会改革調査検討特別委員会を始める。今日の議題は2つ。今まで当委員会としては大きくはタブレット導入と通年会期制、政務活動費後払いを実現し、浜田市議会の議会改革度ランキングはかなり上がっているようだ。

今回は緊急な案件ではないが、多少の色々な改革が必要ではないかということで申し送りがあったので、皆さんの意見をお聞きしながら、来年3月の会派代表質問までに日程調整をしていきたい。

また、今は政策討論会に向けて各委員会で議題を上げていただきながら進んでいるが、自由討議についても要領を見直しながらある程度きちんとしたものにしていきたい。

この2点について挙げさせてもらった。

**議題1 会派代表質問のあり方について**

西田委員長

資料も見てください。次長から説明をお願いします。

篠原次長

(以下、資料1、参考資料1をもとに説明)

西田委員長

今、説明があった。何かあるか。布施委員。

布施委員

政令指定都市ということで、丸印は代表質問するということだが、時間は大幅に違っているのか。

篠原次長

政令指定都市は大体5人以上の会派に対してのみ行われることになっているようで、時間も会派人数によって違う。

布施委員

人数が多い議会なのでかなり時間をかけて代表質問が出来ると思うが、その中ではこういうやり方が出来るかなと思った。それが浜田市議会のできるのかと思ったので質問した。

西田委員長

この資料は政令指定都市の例で、人数も多いし、会派は4人ないし5人以上と限定しているので、浜田市に直接当てはまることはないのかもしれないが、浜田市議会の今までの会派代表質問を振り返ると、今は2人以上の会派を認めて代表質問をしていただいている。質問時間も会派所属人数に合わせてある程度割り振っている。浜田市議会の場合は市長の所信に対する質問なので、大体同じような内容の質問が多い気がする。ただ時間が長いから聞く内容に色々な装飾をつけて聞くか、ストレートに聞くかの違いのような気もして。会派の色がなかなか出てないのではないかという気もして、事務局にこういう資料を出していただいた。

提案があったが、例えば所信表明というのを予算決算委員会で。3月議会の代表質問は3月当初予算についての質問なので、事業予算については考え方や中身については会派によって多少色が違ってくるのではないか。1つの良い提案だと思っているが、委員の皆さんからご意見がいただければと思う。野藤委員。

野藤委員

各政令指定都市の資料だが、読んでみると結局予算関係に対する代表

質問が多いように思う。浜田市の場合は予算は年度当初なので予算も含むのだろうが、市政一般に対する質問になっている気がする。それを分けるということか。

西田委員長

市政一般の質問だが、それを例えば当初予算、当初事業にある程度限定してやると、会派の色が出るのではないか。考え方も違うし。

野藤委員

結局本会議場でやっている。これは私の考えであって違うかもしれないが、予算委員会の席上で代表質問をするのかと思ったのだが。

西田委員長

違う。あくまでも本会議場での会派代表質問の中身について。今までは市長の施政方針に対してだったが、ある程度予算や事業に絞った会派代表質問にしたかどうかということ。

牛尾副委員長

そうすると、予算委員会で予算質疑をする。そのまとめを先にする形になる。二重になるような気もする。整理できれば良いけど。

野藤委員

私もそう思った。振り分けが難しい。

篠原次長

予算決算での質疑は具体的なことに対してだが、代表質問でやろうというのはあくまで市政全般にわたっての予算が組んである中の、例えば総務費ならこれくらいの予算が付いているがどういう考えでこの予算を付けたのかというような、予算組み立ての考え方。予算決算委員会ではそういったことは本来聞くのではなく、具体的な1つ1つの事業について聞く場なので、そうではないことを聞く場として会派代表質問でされたらどうかということだ。

牛尾副委員長

予算の振り分けに関する考え方は、大枠で予算書に書いてあるから。

西田委員長

予算に絞ったら、というのが案なのだが。会派の色を出すため。これがたたき台なので、これについて議論されても良いし、別の案があれば出していただければいい。

布施委員

聞く方の捉え方が、一括質問、一括答弁をすると、ケーブルテレビは途中から見ると何を質問して何を答弁しているか分からないということで。委員会の枠によって質問して答弁を受ける。細分化してやれば見ている人も理解しやすいのでは。各代表質問の時間を見ると、与えられた時間内にほとんど終わっている。交代して答弁されてもそんなに時間はかからないから、そういうやり方は出来るのではないかという思いはある。中身や内容は一般質問をするか市政全体についてするかは別にして、視聴者への伝え方、捉え方としてそういうやり方を考えたら良いのではという思いはずっと持っている。

野藤委員

基本的なことを聞くのだが、代表質問のスタイルとして議会改革度が上がるスタイルとはどういう形か。例えば一問一答にするとか、ある程度ジャンルを区切った質問をしてそれに答えるのがいいのか。

牛尾副委員長

ランキングは一問一答が対象になる。その議会で代表質問があるかないかは、もしかしたら加点対象になるかもしれない。

一般質問と代表質問は元々性格が違うのだから、代表質問はどうしてもあなる。国会中継でも代表質問はほとんど中継しない。面白くない

から。代表質問は議会の華だから、そこを割り切ってもっともっととなると、すごく時間をかけて議論しなければいけないのかなど。いつか誰か言われたように、代表質問を一問一答方式にすれば分かりやすいのではと言うが、それもどうかと思う。いずれ自分がやらなければいけないから、自分がやる時のことを頭に入れて議論しなければいけないと思うけど。

西田委員長  
澁谷委員

澁谷委員。

代表質問を一問一答にしたら、個人一般質問と全く一緒になる。それなら代表質問をやる必要がない。ただのパフォーマンス。これも演出なので。今の浜田市議会の代表質問の問題点は、会派の統一の見解がないままに、ただ聞くだけの質問が非常に多いことです。だから聞いていて全然面白くないし。その辺は会派できちんと議論していく仕組みにはしなければいけないが、それ以外は、問題があるのなら止めてしまえばいい。個人一般質問でやれば良い。壇上に上がって演説するのは会派代表者しかできないパフォーマンスとしての意義だと思う。それをわかりやすくすると何かし始めるなら止めた方が良い。個人一般質問で発言すれば良い。どの会派も皆、似たり寄ったりの代表質問だから。

牛尾副委員長

例えば県議会でも、代表質問ができる人間は役職で限られている。代表質問が出来るというのはすごく重いもの。ただ、今は2人会派でも代表質問ができる。県議会では会長、副会長、幹事長くらいしか出来ない事になっているので重さが違う。浜田市議会は今、次はあなたがやりなさいというふうに会派内で交代制になっている状態なので身近に感じるけど。

代表質問を澁谷委員が言ったように、予算全体を見ながら「俺らは市長のこういう所がおかしいと思う」というように質問を組み立てていくなら、それはそれで会派の色が出る。公明党さんは、やらなくていい所は省いたりして特徴を持っておやりになっている。一応会派をなしているので、我々はこうだというのを代表質問で示すのは必要なことなので。ただ会派を為しているから代表質問する、というのが今の問題なのではないか。何故会派を作っているのか、そういう原点に立ち返って質問を考えていかないといけないのではないか。

時間がかかると思うが、その辺をもう少し会派で詰めて議論して1つの結果を出した方が。止めてしまうよりも、代表質問はあるなしで違うと思うので、僕は残したい。

西田委員長  
笹田委員

笹田委員。

議員に代表質問が大事だと思っている人がいるかどうか。あまり思っていない人が多いのではないかな。パフォーマンスにしか見えないし、自分の会派はすごい質問をしていると思っているかと言ったら皆はそんなこと思っていないだろうし、重要性は皆さんあまり感じられてないのではないかと個人的に思う。

牛尾副委員長  
笹田委員  
西田委員長  
小川委員

それは個人の意見だから。

委員なので、言いたいことは言わせてもらう。

思ったことは言って欲しい。小川委員。

僕も会派代表質問はあるべきだと思うが、やり方は一括質問・一括答弁よりも、例えば最初に考え方を壇上で述べた後に質問席に戻って、そこでやり取りしながらやっていく形が分かりやすいかと思う。施政方針全般に対する考え方をどこかで聞くとすれば、今回の3月議会は議長除く全員がされているので、そうなると一般質問と会派代表質問の違いがどこにあるのかと言えば、会派代表の方は会派の思いをまとめて言ってもら。そういう形の部分だけもあるし、時間があればいくらか一般質問的な質問をされた過去の例もある。そうなると質問の仕方を変えることで見ている方がわかり易くした方が良いのかなと思った。

西田委員長  
笹田委員

笹田委員。

施政方針に従ってやるべきものではない。そんなルールはない。ただ会派の代表として会派としての質問をするだけなので、施政方針と違うこともできるし、会派としての考えを述べても良いわけだから。今は施政方針ありきの会派代表質問になっている感じがする。

西田委員長

私もその辺ははっきりしなかったが、色々お聞きするところでは、元々3月の新年度予算、新年度が始まる前に市長は当然施政方針を出されるのでそれに伴って会派代表質問をしているのが今までの流れだった。基本的には市長の新年度計画に対する会派としての意見を質問していた。

笹田委員  
西田委員長  
笹田委員

では施政方針ありきなのか。

それがベース、基本ではある。

それも意思疎通で皆分かっている、それに準じてやり方を考えれば良いのか。

西田委員長  
柳楽委員

柳楽委員。

私も今年初めて代表質問をさせていただいたが、率直な感想としては不完全燃焼という感じがすごくした。施政方針自体もそんなに具体的なものではないので、それに対する質問も何となくふんわりしたものになり、答弁自体も本当にざっくりした答弁しかない、すごく不完全燃焼という感じがして。あまりやりたい感じでは実際なかった。

次長が話をされた、例えば予算だったり決算だったり質問するとなると、施政方針に対してより少し具体的な質問も出来るのかなと感じたのだが。

西田委員長

大変良いご意見。柳楽委員の言われた感じ方は、された方は大体一定には同じように感じられている気がする。会派の色を出してやろうとすれば、色々と考えながら、次長が提案されたようにある程度予算に絞ったり。例えば市長の新しい施政方針の中で大きいもので言うと、歴史資料館の話が出ると、賛成反対色んな意見があるので、それを会派としてどう考えてどういう意見が出たか、会派代表として出されたりするので、

やり方次第では会派代表質問の意味も十分あるかと思う。ただ、今までのままでいくと柳楽委員が言われたように不完全燃焼で、それが今までできているから、会派代表質問のあり方について皆さんでもう1回検討しようということがずっとあるわけだ。牛尾副委員長

牛尾副委員長

個人一般質問と代表質問の違いは、後ろに大勢いる代表で市長の政策に異議を唱えるのと、一個人が唱えるのとでは大きな差がある。それくらいの存在感を代表質問で示さないと、議会側の1つの仕事だと思う。それが体にまだ入っていないから、義務的にやっていて、無くて良いかなというところにいくのかなと。僕らももう少し代表質問そのものを研究する必要があるのかという気がする。

西田委員長

柳楽委員。

柳楽委員

自分自身が不完全燃焼のように感じているということは、多分それを聞かれている市民の皆さんもそう感じているのではと思う。もうちょっと何か工夫が必要だと思う。

西田委員長

田畑委員。

田畑委員

今までどおりの代表質問は柳楽委員の言うように不完全燃焼ばかりで、あまり意味ない部分も感じる。だったら止めても良いのではという気持ちも一部ある。会派のカラーを出そうと思ったら、やはり会派そのものが施政方針に基づいて代表質問をするなら、その中の問題点を全部やらずに何点かに絞ってとことん突っ込んでやるくらいの勢いでないと。3月のような状態なら時間が勿体ない。ぼやっと聞いてぼやっと返ってくる程度に感じる。するなら会派で何点かに絞ってやるべきだろうと、僕個人的にはそう思う。

牛尾副委員長

会派代表で質問する前に、我々会派としては今回の市長の施政方針に対しては、これとこれに問題があると思う、よってこれについて代表質問をする、というスタイルでやっていくか。うちの会派はここが一番問題があると感じているよと。そういう切り口でやっていくと、見る人にとって多少違うのかなと思う。

田畑委員

ケーブルテレビを見ている人は、会派代表質問は全く理解できてないから。何か知らないがまだ何か言っている、こういう感じ。だからもうちょっとわかり易くしようと思えば、一問一答だと思うが、質問方法を考えた方がいい。

西田委員長

小川委員。

小川委員

せっかく資料があるが、札幌は予算決算の質疑と市政一般に対する質問と議案質疑の3つがある。浜田市議会の現時点で言うと、施政方針についてだけで予算とか議案はあまり対象になってない。だからこれに基づいて対象になる中身を、今の市政一般以外にこれらも加えて、もう少し具体性を持った質問にした方が良い。とすれば対象を列記したような形にした方が良いのかなと思った。多分、今はそういう取り決めもないのではないかと思う。

西田委員長  
野藤委員

野藤委員。

分かりやすくするために区切ると最初に言ったつもりなのだが。今は市政一般に対する質問の中で少し予算に触れたりもしておられると思う。最初に市政一般をやって、それからこれに基づく予算案が出ているので次に予算に対する代表質問をする、というようにすれば、ある程度区切っているから分かりやすいかと思う。ただ、細かいことに触れられないので予算執行に関わる基本的な市長の方針とか、そういう聞き方になると思うが。会派に持ち帰ってないから分からないが。

( 「また、会派で調整しよう」との声あり )

西田委員長

今日は一応皆さんから色んなご意見を伺って、また持ち帰るなりで各会派で協議してもらって。西川委員。

西川委員

先ほどから言われていることの繰り返しになるが、新人議員への説明会において、浜田市議会は会派制を敷いていると言われて。会派制はそれなりにメリットがある。政治信条が同じ人が集まって切磋琢磨してという集まりがあるので、その色を出すような代表質問が良い。毎回、どの会派が何を主張するか楽しみになるような物が良い。

道下委員

政令都市のやり方は、皆さんが言われるように項目を絞ったやり方になってくるのか。例えば歴史資料館へ向かうか、子育て支援センターへ向かうか、みたいな話を進めるのか。

篠原次長

予算決算の委員会ではないので、また会派によって時間も違うので、短い時間の会派はある程度絞ってやらないといけなかもしれないが、会派によってはある程度、予算や決算に関して、あるいは議案に関して、条例に関してやっておられる所もあるように聞いている。

西田委員長

会派の色を出すのは難しい。24人しかいない議員が、人口減少等諸々厳しい地域と一緒に住んでいるのだから、皆さん考えの基本は一緒だと思う。市長の施政方針もその中から出されて、それに対して少ない人数の会派で色を出すのは難しい。会派代表質問を一定レベルまでもっていかうと思うと、相当努力が必要。今のレベルはそこまで達していないという気が個人的にしている。もっとレベルを上げていかないといけない。流石会派代表質問だというくらいまで、会派のレベル、意識を上げないといけない。今は一般質問も会派代表質問も一緒に、逆に会派代表質問が不完全燃焼で終わるパターンになっていて、聞いている人も分かりにくい。そこを皆さんでどう考えないといけないか。

牛尾副委員長

例えば会派の中で政策提言や提案をする中で、市長が実現しない場合は翌年の代表質問の中で、我々これだけ会派メンバーを揃えて提案した案件を市長は何故、政策実現できなかったのか。例えばそういう質問の仕方を含めてやっていると絡んでくる。代表質問を進化させる工夫が我々に必要だと思っている。

西田委員長

これは永遠のテーマみたいなもの。こういう議論をしながら皆さんの意識が少しずつ前向きに変わっていく事も大事。

笹田委員  
西田委員長  
村武委員

今のままでは良くない。皆思っている。

それははっきりしている。村武委員。何かあるか。

会派代表質問を聞かせていただいて、どこも同じような感じなので。質問も答弁も。それが続いているのは良くないと思う。ただ、会派で色んなことを議論しあったり視察に行ったりして高めていったものを会派質問で出せば良いのかなと思っている。やっぱり会派代表質問はあった方がいいと思う。

あと予算決算質疑というのが結構あるが、もしかしたら浜田市議会は予算決算は全議員が委員だが、そうでない所もあると思う。そういった意味でこういった予算決算が会派代表質問の中に入っているのかなとも思ったのだが。

牛尾副委員長

元々は予算の特別委員会、決算特別委員会だった。でも予算と決算は連動しているから、全体でやるべきだと。新人議員さんの場合、予算特別委員会に所属したら決算のことは分からない。だから一期生から全体が分かるように予算決算委員会に入って、他の委員の質問を聞きながら、浜田市の予算はこんなものだと分かる。別物だという意見もあるだろうが、今の流れから言えば予算と一体だから全て一緒にやる流れ。

澁谷委員

予算委員会は昔は分割委託していて、各常任委員会に分けていた。最後に上がってきたものをトータル的に総務委員会が予算を可決していて全体が全く見えなかったの、それを見えるようにしたのが牛尾さんが議長だった時に、今の形にした。決算特別委員会は9月議会で1週間くらい掛かるので先輩議員は誰もやりたがらず、新人だけが出ていた。それを今は全員が出るようになって4日くらいで終わるようになった。これは良い形だ。

西田委員長

合併後に随分進化していると私も感じる。前の浜田市議会のお話を聞くと、予算も全て総務委員会が握っていたので総務委員会が何日もかけてやっていた。他の議員とも全然バランスが違う。今から見れば想像がつかない。

牛尾副委員長  
澁谷委員  
牛尾副委員長

総務委員会が一番重かった。

総務委員長が一番偉かった。予算を握っているから。

それはおかしい、予算一体の原則から一緒にやるということで今日に至っている。

西田委員長

そういう流れがある中でのこの会派代表質問。私も合併して代表質問が最初はピンと来なかった。代表質問と一般質問の違いは何かと聞いた。一般質問は色んな事業、細かい市政についてとことん聞くのだと。代表質問はちょっと大まかに執行部や市長の考え方について大まかに聞くのだと。皆さんから意見を出してもらいたい。

野藤委員  
西田委員長

持ち帰って協議したい。

会派から出ている方は持って帰っていただいて、今あったご意見を踏まえて、予算について等の意見も合わせて会派で議論していただけたら



と思う。次回までに会派に持ち帰って、良い案を出していただければありがたい。

議題1についてはだいたいよろしいか。

( 「はい」という声あり )

ではこの件は以上とする。

## 議題2 自由討議について

西田委員長

これも次長から説明をお願いします。

篠原次長

( 以下、資料2をもとに説明 )

西田委員長

議会基本条例には自由討議が規定されているが、具体的内容については、実施要領はあるけど正式には定められていない状況。だから、実施要領の中身、文言を訂正しながら最終的には仕上げたものを議長、議運に出して、正式にこれを認めて例規集に載せたい。まだこれは例規集には載ってないので、きちんと定めたものを載せたい。今、赤線が引いてある部分は、通年会期になって調査会がなくなったので、調査会は既に消してあるが。それ以外で何かあれば、皆さんからご意見を伺いたい。澁谷委員。

澁谷委員

議会基本条例の11条と12条は、条例はあるけどやってなかった。自由討議という言葉はあるが、どのようにやるかは誰も分かっていなくて。委員会での議論の中で委員長が采配して自由討議を設けている場面も見なかった。誰か先進自治体の見本を持っているか。言葉だけあって。じゃあどうしてやるのか。全員協議会でも、そういう意見が出て議長が采配してここから自由討議だよと、やるのかなあといった漠然とした感じだ。

牛尾副委員長

本会議場は議長が仕切らねばならない。委員会は委員長が。全協は議長が。動議が出る、こういう理由で自由討議を、議員間討議をやろうではないかということで宣言して、それが許可されればそこから討議に入る。

澁谷委員

やっているのを見たことない、やり方も分からないし。

牛尾副委員長

例えば昨日の陳情の審査でも、議員間討議あるいは自由討議でも同じ意味だけど、今は例えば各議員が色々言って採決取るが、そうではなくその案件についてそれぞれ意見をお互いが交わしながら、整合性を持たせるまでに至るかどうかが。至らないかもしれない。そこまでやれば進化するのだろうと言われているが、やってないので分からない。銘々で意見するのではなく戦わせるというか。

( 「議員間討議をどこかやっているところがあるの」という声あり )

牛尾副委員長

ある。議員間討議を採用している先進地はあるので行ってみたい。ただ、やり方は今言ったような方法なので、あとは采配する者に経験があるかどうかだ。やっていく中で例えば陳情でも、銘々で個人の意見があって、意見を戦わせて本当はどうなのかというのはやってない。それく

	らいやるとやっぱり進化するのだろう。
西田委員長	やろうと思えば、発議や動議を出すのは委員なり議員が 2 人以上が賛成を出さないといけない。
牛尾副委員長	議員間討議を実際にやっているのと、いわゆる議会改革ランキングは上がる、そういう見方がある。
篠原次長	参考資料 3 を見ていただくと、平成 29 年の 12 月 31 日現在の全国の市の状況、議員間討議・自由討議の実施状況を載せている。裏面に、会議の種類を見ると委員会がどうしても多い。78 市で 85.7 パーセント。ほとんどが委員会で自由討議を採用していることが分かる。
牛尾副委員長	委員会が一番やりやすい。
篠原次長	それと、浜田市議会の自由討議実施要領については前議会で協議されたが、岩手県滝沢市を手本に作られている。
牛尾副委員長	逆に言えば中国 5 県でこれを頻繁にやっている所があれば、議会改革ランキングも必要だけど。今年早めに行けば良い。やっている人の生の声を聞くのが一番分かりやすい。
西田委員長	柳楽委員。
柳楽委員	委員会や全員協議会や本会議という場合には当然、執行部が居られる。執行部がいる場で、間でそういう状況になった時には自由討議が始まるということか。
西田委員長	牛尾副委員長
牛尾副委員長	物の本によると、質疑をする前に議員だけで議員間討議をして、議員間討議を終えた後に執行部を入室させると流れには書いてある。
柳楽委員	そうでないとやりにくい。
篠原次長	質疑が終わって討論をやる前に議員間討議・自由討議をやるということも書いてある。本会議でも委員会でも。質疑が終わったということで執行部に帰っていただいても良いし、残っていただく中でやっても良いが。うちは委員会で討論はあまりしていないが、委員会でも討論はできるので。
西田委員長	今みたいな感じで自由討議の実施要領をある程度まとめたい。これはいつまでということはないが、出来れば早い段階でやった方が。
篠原次長	ちょうど討論会も予定されているので。
西田委員長	政策討論会があるので。
篠原次長	昨日の幹事会で予定が決まり、また全協で議長からお知らせがある。
西田委員長	この実施要領の訂正箇所以外で、もし特に無くて要領の中身で良いなら、このまま出しても良いということか。
西田委員長	笹田委員。
笹田委員	自由討議のやり方が見えないので、このままだと記録がどう残っていくか。手を上げて発言するなら良いが、自由討議の場合は議事録が残せない。挙手制で発言するなら自由討議にはならない気もする。
西田委員長	勝手に発言せずに、あまりに意見が出てくるなら発議なり動議なり出

して、ちょっと自由討議にしましょうよと。正式に議事録に残してきちんとやると。

牛尾副委員長

次長、議員間討議と謳った方が分かりやすいのでは。「自由討議（議員間討議）」と。中身は議員間でテーマについて話すのだから。自由討議というと、銘々が自由にものを言えば良いという印象を受けるから。テーマが決まっていて議員間で議論を戦わせることなので。

篠原次長

資料のように「議員間（自由）討議」とした方がわかり易いか。

（ 「はい」という声あり ）

笹田委員

執行部は。

西田委員長

場面によって執行部がいる場合もあればいない場合もある。

西田委員長

澁谷委員。

澁谷委員

この前議運で言ったのは、実施要領は出来ていてある。でも1回もやったことないから実施要領があるといっても宙に浮いている。だから1回ちゃんとやってみてから実施要領を作らないと実施要領だけが勝手に動き出す。1回承認してしまうと、これはまた実施要領と違うということになったりするるので、これは急がなくて良いと思う。

牛尾副委員長

一番良いのは北海道根室町の先進地事例を見ること。

西田委員長

要領の方はもうちょっと先でも良いか。

（ 「はい」という声あり ）

西田委員長

ではもう少し経験を積むのが先ということで。自由討議をやっている先進地や、あるいは会派代表質問のやり方で先進地があれば。次長に押し付けても非常に忙しいので、委員の皆さんの中で会派代表質問なり自由討議なり、先進市がもしあれば、正副委員長や事務局へ提案いただきたい。

牛尾副委員長

浜田市議会のマニフェストランキングは61位まで上がったので、今年はずっと上に上がると思う。通年会期とタブレットが入ったので、恐らく今年はずっと30くらいになるのではないかなと思う。ランキングで言えば島根県内でダントツだ。比較する物でもないが、自分の議会がどういうランクにいるかは自覚しておかないと。今度松阪市議会が来られるが、松阪は議会活力度は40位台で、浜田市議会が61位だけど、マニフェストは圧倒的に浜田が上。色んな尺度があるので一概には言えないが。

西田委員長

牛尾委員には審査員になっていただいて。

牛尾副委員長

ランキングはつくので、つけられる以上はケツを走るより良い所を走った方が良い。ただ、あまり窮屈になってもいけないので気を付けなければいけないが。

西田委員長

ランキングが上がるのは嬉しいしありがたいが、一番の目的は浜田市議会の議会改革ということで、また色々ご協力いただきたい。

議題2についても、以上でよろしいか。

（ 「はい」という声あり ）

### 議題3 その他

西田委員長

西川委員

その他で何かあるか。西川委員。

提案なのだが、議会改革ランキングは上がっている。実質的に議会の機能がもっと良くなればいい。議会は執行部のチェック機能以外に言われるのが、政策立案機能から条例制定機能、それを高めるのが一番必要。議員だけではなかなか大変なので、事務局の力が必要と言われている。事務局の立法、法律に関する知識等を協力して、議会が1つになってチーム議会と言われる。ただ今、事務局の仕事が、一般的な雇用を伸ばすようなマニフェスト系の資料だが、時間を費やすのが本会議録の調製、委員会記録の調製、そういうものにすごく費やされていて、なかなか他の仕事ができにくい。浜田市議会もそういう状況だと思う。

議事録は今、耳を使って起こされているが、AIやソフト等の機械を使って労力を何分の1かにできる議会もある。事務局の能力をもう少し議会を高めるために使うために、議事録を起こすソフトや業務改善について研究してもらって来年度予算で導入してもらえば良いかと思う。その研究を事務局でしていただくか、こちらですか。そういう取り組みをして来年度予算でも上げて貰ったら良いかなという提案だ。

良い提案。

西田委員長

牛尾副委員長

今はどこでも、議員と議会事務局の協働について言われていて、更に言えば、法制に強い職員を1人議会事務局に配置すべきではないかということが全国的に言われている。だからその辺も今年のテーマとしてやっていけばどうか。

あとは議会改革で検討していただければと思うのが、先日委員長と相談したのが、今西川委員が言われたように、政策サポーター制度。島根県立大学とは相互協定を結んでいるので、かつては話を進める。かつては教授何人かと組んで条例を作ろうということ教授何人かと組んで、条例をもやってきた。最近そういうことをやってないので、政策を我々が作ろうというようなことをやってきた。最近そういうことをやっていないので、適当な人がいらっしやれば。県大なら相互協定を結んでいるのでお金が要らない。今後検討しようではないかと。

それから、今は通年会期制になったものの定例会は決まっているので、定例会以外の文書質問。重要案件について文書で質問する制度化。それから議会図書室の整備。議会図書室でいつも勉強できる。逆に言えば議会図書室を市民開放している所もある。それはハードルが高いが、そういうことも是非ご検討いただければと思う。

あとは、この特別委員会と各種団体との意見交換会。御船町はあおぞら議会と言っていて、色んな所と意見交換会をする。常任委員会でも良いけど。今は重要案件の意見聴取会は向こうから申し出があればやろうということになっているが、これほとんどないので、出かけていって、どこかあれば行うのも必要なのではないかと。

小学校、中学校、高校生議会の開催。これは結構やっているの、それぞれの学年にあったようなテーマで意見交換会をするのが良いのでは。ちなみに根室町議会は高校生未来会議というのをやってライブ配信している。高校生と自分たちのまちをどうしたら良いかの意見交換をしながら、そこから出たアイデアを逆に条例提案するようなこともしている。それも1つのやり方として検討していく中で、浜田市議会に似合ったものがあれば、皆さんの同意があれば、やってみたらと思う。一応正副委員長で調整した問題について申し上げた。

西田委員長  
澁谷委員

澁谷委員。

私は最近、浜田市議会の一般質問が崩れていると思っている。それを建て直さないといけないのではないかと。窓口質問から始まって、地域の地域課題の質問だったり、自分の所属する団体もあるし、再質問を原稿をかなり読まれる議員が多くなってきていて、自分の意見なのかどこかの偉い先生の意見なのか分からないような質問があったり。1回、先進自治体の議会一般質問の視察みたいなものも検討していただかないと、今どうなのかなと感じている。ご検討いただきたい。

牛尾副委員長  
西田委員長

今澁谷委員が言われた件も含めて、先進地視察を。

色々と意見を出していただいた。視察の件は皆さんあ頭に置いておいてほしい。副委員長が言われた色々な件も、また考えさせていただく。最初に西川委員が言われたのは非常に良い提案だと思う。来年度の予算要求は何等かの形でそういう動きをしてみたい。

野藤委員  
牛尾副委員長  
野藤委員  
西田委員長

議事録は今、外注しているのではないかと。

多分外注。返ってくるのが分からないのがあったりするらしい。

音声読み上げ機能等もあるし。

AIも今進化していて色々なソフトもどんどん新しいものが出てくると思うから、そういうものもしっかり捉えて活かせればと思う。

今度、松阪市議会が7月29日に浜田市議会に来られる。議会改革の視察が目的で来られる。議員さんが18名と大変多く来られる。正副委員長と議長団とで対応といっても、相手がなんせ18名なので、この議会改革特別委員会の12名でお受けしたいと思うのだがいかがか。

牛尾副委員長  
澁谷委員  
西田委員長  
笹田委員  
田畑委員  
牛尾副委員長

出来ればご同意をお願いしたい。

何時からか。

午後3時から。7月29日午後3時、場所は全協室になると思う。

これは委員会の招集扱いか。

そうすれば良い。

議会改革の特別委員会で、松阪市議会と議会改革をテーマに意見交換するという事。

西田委員長

そういう取扱いでいかせてもらおう。それと、18名の方が来られるので、我々浜田市議会が松阪市議会にお邪魔した時には、議員間で懇親会をしたりするのだが、今回も浜田市内で懇親会を希望されているので、是非

笹田委員

出られる方は懇親会も出ていただきたいのだが、この懇親会は全議員さんに声をかけさせていただき、出来れば全議員さんと一緒に交流したい。強制ではないが都合がつく方は是非交流会にも参加していただきたい。

場所と時間は。

《 各委員宛、案内文書を配布 》

( 「これを配っておいて言えればいいのに」との声あり )

篠原次長

全議員に参加を呼び掛けることをご了解いただいてから資料をお渡ししようと思っていた。

西田委員長

議会改革特別委員会の次回開催は7月29日、午後3時から。

牛尾副委員長

3時前から集まってもお疲れになるだろうから。

篠原次長

場所は全員協議会室で。

西田委員長

全協室。

牛尾副委員長

議会改革のランキングが上がると視察の数が増える。

西田委員長

このレジュメの中身については、次回の開催日まで決まった。

副委員長からの提案がある。この特別委員会の研修日の日程をできればある程度決めておきたいとのことなのだが。いつ頃が良いか。

牛尾副委員長

委員会改選もあるので、7月は難しいだろう。8月の盆明けか盆前か。

( 以下、日程について自由討議 )

牛尾副委員長

それでは27、28で決定させてもらおう。一般質問の先進自治体でなおかつ議員間討議をやっている所を探して、2か所程度。それでは私が幹事をするので誰かもう1人手を上げてもらって。

西川委員

はい。

牛尾副委員長

では私と西川さんで。

西田委員長

幹事は視察の候補地も探してほしい。視察の幹事は牛尾委員と西川委員にお願いする。

他にはないか。

( 「なし」という声あり )

西田委員長

では以上をもって議会改革調査検討特別委員会を終了する。

(閉議 14時 56分)

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

議会改革調査検討特別委員会 委員長 西田 清久 ㊟